

概要

- 県産農産物の販路・販売拡大による農業者所得の向上を図るため、国内主要都市や海外における販路開拓・確保・拡大のための施策を展開

予算額(当初):4,407千円

事業期間:平成29年度～令和2年度

背景/課題

【県産農産物の国内流通】

- 中部地方以西は総人口の約5割を占めるものの、県産農産物の出荷割合は約2割
(県産農産物の仕向け先(H28):
関東64%、東北17%、中部11%、関西4%)
- 宮城県は本県との経済圏の結びつきが強く、さらなる県産農産物の需要が見込まれる。
⇒首都圏以外の消費地への販路拡大が必要

【県産農産物の輸出促進】

- 人口減少に伴う国内市場の縮小や東アジア、ASEAN諸国の経済発展に伴う富裕層の増大など、国内外における経済環境の変化への対応として輸出拡大が求められる。
⇒国・地域によって異なる嗜好や検疫条件への対応が必要

事業内容

1 国内主要都市における販路開拓

地方主要5都市（札幌市、名古屋市、金沢市、広島市、福岡市）別販路開拓の展開

- ・ 地方主要5都市の販路開拓コーディネーターによる情報収集・情報発信
- ・ 名古屋市・金沢市の実需者と本県産地とのマッチング機会の創出
(産地見学会等の実施)



宮城県（仙台市）及びその周辺都市での需要創出に向けた展開

- ・ 県産農産物の需要創出に向けた百貨店・量販店等でのフェア開催の支援

2 海外における販路開拓

輸出先国の嗜好性等を踏まえた国別輸出アクションプランの展開

- ・ 国別輸出アクションプランを活用した研修会・輸出セミナー等の開催
- ・ 輸出関連機関との連携による海外バイヤーの招へい
- ・ 輸出拡大に向けた国別輸出アクションプランの改訂（EU）



事業目標

- ・ 国内主要5都市の中央卸売市場における県産青果物の取扱金額
H27:2,613百万円(H30:2,891百万円)⇒R2:2,874百万円
- ・ 県産農産物輸出量 H29:1,128トン⇒R2:1,300トン

問い合わせ先

- 担当課:6次産業推進課
農産物流通販売推進室
流通販売推進担当、輸出推進担当
- 電話:023-630-3191,2221,2427,3069